

(公社)生体制御学会

平成30年度事業報告

A. 会務を円滑に運営するために次の会議を行った

1. 総会

平成30年 6月3日(日) 午前9時30分～10時20分
(名古屋市立大学病棟・中央診療棟3階 大ホール)

2. 理事会

平成30年 4月7日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)
平成30年 6月3日(日) 午後6時～午後8時(東洋医学研究所®)
平成30年 12月8日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)
平成31年 3月3日(日) 午後6時～午後8時(東洋医学研究所®)

3. 評議員会

平成30年 11月25日(日) 午後4時～7時(ルブラ王山)
平成31年 3月10日(日) 午前10時～正午
(名古屋市立大学病棟・中央診療棟4階 第1会議室)

4. 管理部門会議

平成31年 2月3日(日) 午後6時～午後8時(東洋医学研究所®)

5. 事業部門会議

平成31年 2月9日(土) 午後5時30分～午後7時30分(東洋医学研究所®)

B. 目的を遂行するために次の事業を行った

1. 研究活動

イ. 各研究班活動

各研究班が月1回研究日を設けて研究活動を行った(別紙)

- ①疼痛疾患班
- ②不定愁訴班
- ③生活習慣病班
- ④情報・評価班
- ⑤生体防御免疫疾患班
- ⑥古典文献(鍼灸)研究班

ロ. 研究班班長会

日時: 毎月第3木曜日 午後8時30分～午後10時

場所: 東洋医学研究所®

内容: 各班の研究活動報告及び計画

情報交換

研究における問題点の検討

研究班長勉強会

実施日

- 平成 30 年 6 月 21 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
7 月 19 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
8 月 2 日 (木) 第 35 回(公社)生体制御学会学術集会発表練習
8 月 16 日 (木) 第 35 回(公社)生体制御学会学術集会発表練習
9 月 21 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
10 月 18 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
11 月 15 日 (木) 研究班長会 各研究班活動報告
平成 31 年 2 月 21 日 (木) 研究班長会
「起立後の Heart rate recovery 反応および心拍変動に対する鍼の効果」
の研究計画について

2. 第 36 回(公社)生体制御学会学術集会の開催

日 時：平成 30 年 8 月 26 日 (日) 午前 9 時～午後 3 時 30 分

場 所：名古屋市立大学医学部総合情報センター川澄分館さくら講堂 (図書館 3 階)

内 容

教育講演 市民公開講座 (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座

「これからの糖尿病治療」

講師：医療法人 洪内科クリニック理事長

洪 尚樹

司会：社会医療法人八千代病院内分泌代謝内科部長

藤井 徹

特別講演 市民公開講座 (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座

「記憶の仕組み、夢の意味」

講師：名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門脳機能分野教授

澤田 誠

司会：愛知医科大学医学部生理学講座教授

第 36 回公益社団法人生体制御学会学術集会長

岩瀬 敏

シンポジウム

演 題：「顔面神経麻痺に対する西洋医学と東洋医学の連携」

司 会：名古屋市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授

名古屋市立東部医療センター病院長

村上信五

シンポジスト：

名古屋市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野助教

江崎伸一

豊橋市民病院 リハビリテーション技術室長

森嶋直人

(公社)生体制御学会 生体防御免疫疾患班班長

井島晴彦

一般口演

1. 不妊患者における初診時及び産後の抑うつ症状の推移

明生鍼灸院 仁科 楓

2. 気象の変化と不定愁訴について (3) - 四季による不定愁訴の変化 -

(公社)生体制御学会研究部 古典文献(鍼灸)研究班

角村幸治

3. 維持透析患者に対する全身振動運動の効果

偕行会 名古屋共立病院

森山善文

4. 温水洗浄便座を使用した吐水刺激方法の違いによる排泄促進効果の検証

朝日大学保健医療学部看護学科

神谷美香

3. 学術研修会の開催（資料 P8～19）
4. 生涯教育制度・愛知県鍼灸生涯研修会の実施（資料 P20）
5. (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座受講者名簿（資料 P21～23）
6. 学会誌の発行および準備
 - イ. 生体制御学会誌の発行
生体制御学会誌第 33 号を平成 30 年 6 月に発行した
 - ロ. 生体制御学会誌の発行準備
生体制御学会誌第 34 号の編集準備作業を行った
7. 広報活動
定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の開催予定を掲載依頼した
第 289 回から第 294 回までの定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の予定を医道の日本社編集部、医学書院 WEB 版医学界新聞に連絡した
8. (公社)生体制御学会活動内容の整理保管した
 - イ. (公社)生体制御学会会員の業績を整理保管した
 - ロ. 第 36 回(公社)生体制御学会学術集会をアルバムに整理保管した
9. 会員相互の連絡と組織の拡充（資料 P24）
 - イ. 組織部会を 2 回開催し、組織部の活動について協議した
 - ロ. 会員の拡充に努力し、学会の啓発を図った
 - ハ. 当学会事務所との連絡を密にして、会員の入会と退会及び住所変更等の把握に努力した
10. 学術集会において鍼灸学校の学生に対しアンケートを実施した
11. 定例講習会においてアンケートを実施した
12. 治療院見学を実施した
13. 女子会員の交流を推進し、女子部の拡充を図った
 - イ. 女子部懇親会を開催し、今後の女子部の活動について話し合うとともに親睦を深めた
 - ロ. 愛知県鍼灸マッサージ師会の女子会員に、定例講習会での名古屋市立大学睡眠医療センター認定睡眠育成士認定講座と鍼灸学校学生向け企画の案内を発送した
14. 学会啓発活動
 - 平成 31 年 2 月 28 日（木）
学校法人専門学校名古屋鍼灸学校の卒業生に対し、当学会の紹介資料を配布して入会案内を行った
 - 平成 31 年 3 月 7 日（木）
中和医療専門学校と名古屋医健スポーツ専門学校の卒業生に対し、(公社)生体制御学会の紹介資料並びに入会案内を配布して頂いた
 - 平成 31 年 3 月 15 日（金）
学校法人専門学校名古屋鍼灸学校が推薦する卒業生 1 名を、生体制御学会賞として表彰し、表彰状と記念品を授与した
 - 平成 31 年 3 月 21 日（木）
名古屋医健スポーツ専門学校が推薦する卒業生 1 名を、生体制御学会賞として表彰し、表彰状と記念品を授与した